

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（2月定例会）会議録
開催日時	平成30年2月19日（月）14時00分から16時40分まで
開催場所	東分庁舎地下会議室
出席者	委員：内田議長、木下副議長、岩崎委員、攝賀委員、沼本委員、長谷川委員、服部委員、原委員、矢野（真）委員、小林委員、矢野（尊）委員 事務局：岡本課長、神田係長、奥住主事
議題	(1) 放課後子供教室事業について (2) 社会教育委員研修会について (3) その他 ①社連協理事会（2/13）報告
配布資料	資料1 放課後子供教室事業の今後のあり方について（提言）案
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成30年1月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>（1）放課後子供教室事業について</p> <p>●事務局より、資料1に基づいて起草委員会での活動について報告。</p> <p>○議長：起草委員会で作成した提言案について、修正等意見はあるか。</p> <p>○委員：「こども」の表記方法について確認したい。</p> <p>○議長：事業名は「子供」、一般名称は「子ども」としているが、よろしいか。</p> <p>○全委員：（異議なし）</p> <p>○委員：1ページ、1）、①の「類似事業」は、放課後子供教室より前に、西東京市が独自に行っていた事業のことか。注釈で具体的に示しても良いと思う。</p> <p>○委員：「実施から5年を経て…対応が求められるなど、」の部分は、事業を開始した当時から様々なニーズはあったはずなので、「対応がよりいっそう求められる」等に変えてはどうか。</p> <p>○委員：2ページ「放課後子供教室事業の趣旨について、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を」とあるが、「連携」だけでも良いと思う。</p> <p>○事務局：東京都の要綱を引用し事業の趣旨を明確にする意図である。再度最新の要綱を確認します。</p>	

- 委員：3ページ「当初の目的はほぼ達成できているものと思われる」としているが、表現はこれで良いか。
- 委員：当初目的とは、学習活動の機会提供の実施のことか。
- 委員：そうである。
- 委員：達成している部分も取り上げるべきだと思うので、このままで良いと思う。
- 委員：「はじめに」のところに、過去にも放課後子供教室事業について提言したことを記述した方が良いと思う。
- 委員：客観的な現状については、事務局に資料を用意してもらいたい。
- 事務局：調整します。
- 委員：5ページ③「運協の負担軽減のために…」のところは、予算も関係する部分なので、表現をやわらかくして、「機能の強化」等にした方が良いと思う。6ページ(3)、①「学校が本来の機能を阻害するような…」も表現が厳しいので別にした方が良いと思う。
- 委員：7ページで「現状、運協が担うのが望ましい」としているので、「おわり」でも、運協について記述した方が良いと思う。
- 委員：あり方について、当面のことなのかもっと長期的な将来展望なのかにもよると思う。
- 委員：現状と課題が結びつかないので、構造をもう一度確認した方が良いと思う。
- 委員：書き方に統一感がない。見出しが多過ぎると分かりづらいため、大きく分けてすっきりさせ、その中で小さい項目を設けてはどうか。起草委員会で再度検討をお願いしたい。
- 委員：現状と課題が同じものもあるので、書き方等を整理する必要があると思う。
- 委員：現状は客観的に述べ、課題のところではヒアリング結果を用いてはどうか。短期的、長期的、将来的に何が期待されるのかを記述すると良いと思う。
- 委員：「充実」という言葉があいまいな表現に感じる。また、すでに学習活動の機会提供を実施しているところは「継続」といえるのではないか。何か他の言い方を考えたい。
- 委員：5ページの専科教員の起用についてだが、専科教員以外にもいろいろな特技を持った人材がいると思うので、限定しない方が良いと思う。ただし、教員の勤務軽減の取組もあるので、難しいところではあると思う。
- 委員：他市の中には、民間委託で円滑に進んでいるところもあると聞いた。運協やPTAが苦勞していることを考えると、民間委託も視野に入れて良いのではないかと思う。
- 委員：事業をより推進していくためには、今ある機能に加えて、行政での動き（専門の委員会の設置等）が必要になる。コーディネーター（専門職員）を置いても良いと思う。
- 委員：明確な目標を設定した方が、取り組みやすくなるのではないか。
- 委員：統一的に実施するのは簡単ではないし、地域性が大きく関わる部分だと思う。今回の提言では、目標を定めるのではなく、そのような必要性がみられたというところを書けば良いと思う。
- 委員：他自治体の中には、首長部局の大きな計画の中での取組としているところもあり、民間委託も増えている。
- 事務局：西東京市は教育計画に放課後子供教室事業を取り上げている。

- 委員：この事業の理想像・将来像を描かないと、今できることもあやふやになってしまふと思う。現状を踏まえて、可能な範囲での目標立てをするべきだと思う。今後10年、20年のことを考えると、民間委託は有効な手段であると思う。
- 委員：起草委員会で再度、全体像の見直しをするべきだと思う。
- 委員：放課後子供教室について、各校で違いがあるということについて議論を進めてきた。各校何が違うのかを検証するために、インタビュー形式でヒアリングをしたと思う。論点がぶれないように気をつけて提言をまとめたい。
- 委員：子どもの居場所として、どの程度の規模を想定しての話なのか。全ての子どもが利用するのか、公園のような居場所の選択肢のうちの1つとして程度なのか確認してから提言をまとめるべきだと思う。
- 委員：子どもの居場所については、教育委員会だけが事業をしているわけではない。市の中でのバランスもあると思うので、仕切り直しとまではいかなくとも、再度、全体を見直し、調整する必要があると思う。

○議長：本日出された意見等を踏まえ起草委員会を進めることとする。

(2) 社会教育委員研修会について

- 事務局より説明。

日時：平成30年3月19日（月）14時から16時まで

場所：保谷庁舎4階 研修室

講師：川原 健太郎氏（早稲田大学教育・総合科学学術院助教）

- 議長：当日は参加をお願いします。なお、公民館運営審議会と図書館協議会の各委員にも周知する予定である。

(2) その他

①社連協理事会（2/13）報告

- 事務局より報告及び説明。

- 議長：第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会での事例発表について、発表希望はあるか。

○全委員：（意見なし）

- 議長：特にないようなので、西東京市は希望なしで回答する。

- 議長：それでは以上で社会教育委員の会議2月定例会を終了する。

※次回会議 平成30年3月19日（月）午後4時15分から